

7次総ニュース vol.3

H 30.11. 第7次総合計画策定事務局

○ 師弟研修会の発表会がありました！（11月16日）

今回の課題・・・多治見市の人口減少対策について・・・

10年後の新聞に、「多治見市の人口が〇万人を突破！」の記事が掲載
一時は消滅可能性都市にも名を連ねた多治見市が、どんな政策を進め、どんな効果を得て
人口が増加したのか。1枚の新聞記事を作成し、ニュース番組の中で伝える。



岐阜県多治見市の人口が15万人を突破した。当市は10年前まで消滅可能性都市とされていたが、近年人口の増加が著しい。この人口拡大には、市の役所と10年前から進めていた駅前の開発の影響が大きい。10年前の多治見市には駅前の開発が進んでおらず、人口と共に多治見市在住の若者の数も減少の一途をたどっていた。

多治見市人口が15万人を突破

そこで空き家や空き店舗が多くを占めているながせ通り商店街に着目した。空き家のリノベーション、空き店舗のリメイクを行い、カフェロードを生み出した。その後、駅及びカフェロードに繋がる公共交通機関の整備を行った。カフェロードはそのフォトジェニックな景観が、SNSで拡散され、若者を中心に話題になった。

多治見市は更に駅の開発に取り組み始めた。東濃地方初上陸のファストファッションブランドショップや映画館などの娯楽施設を誘致し、一日中楽しめるスポットとなった。また、市民からは「休日を通り過ぎる多治見」として浸透したが、話題は市内に留まらず、市外からも観光客が増え、絶えない。今後は更なる人口増加が期待できる。

住みたい街ランキング1位を獲得

若手職員の皆さんの斬新なアイデアが満載の発表でした。“どんなまちだったら住みたくなるのか”を市民目線で考えることが大切であることを学び合いました。

市民の立場に立った視点を大切に、日頃の業務にも生かしていくことが重要です。

総合計画（後期計画）策定に向け職員提案を募集中！

みなさんが日頃感じる課題などについて、積極的な提案をお待ちしています。

募集期間：平成30年11月1日（木）～12月21日（金）

応募方法：多治見市＞公開キャビネット＞第7次総合計画（後期計画）＞職員提案の様式に記入し、事務局後藤（n-goto@city.tajimi.lg.jp）へメールで提出してください。

【見直し方針】

- ① 人口減少対策（特に郊外団地の空洞化対策）、移住定住推進施策及び子育て・教育施策の充実
- ② 高齢化・防災・交通などの地域課題へ対応するため、地域力（市民の共助）の向上
- ③ 人口減少・収入減が見込まれる中、公共施設適正配置計画を着実に推進し、企業誘致など新たな収入確保、更なる税収増など財政の健全化維持に繋がる政策・施策